



茨城県立筑波高等学校グランドデザイン2023

目指す学校像

「地域に支えられ、地域を支える高校生の育成」を目指し、
地方創生に貢献できる人材を輩出する学校

つくばね学

3学年

「つくばね学探究」

－自己から社会へ－
持続可能な社会の実現を目指す

2学年

「つくばね学」

－自己から地域へ－
体験をとおして、地域課題の発見
と解決を目指す

1学年

「つくばね学基礎」

－自己から他者へ－
自分を知り、他者を理解する

目指す生徒像

地域課題の解決を目指す
体験的地域学（課題解決型
学習）により、社会へ参画する
力を身に付け意欲的に活動
する生徒

生徒への支援体制

- ・学校設定科目
「筑波サポートタイム」
- ・人間関係づくり演習
- ・少人数授業、TTの実施
- ・コース分けによる進路支援
- ・検定試験の充実
- ・面談、相談体制の充実
- ・進路を考える未来タイム
- ・アントレプレナーシップの育成
- ・IT活用による進学指導の充実

特別活動による生徒育成

- ・百人一首大会
- ・歩く会 ・ボランティア
- ・体育祭、紫峰祭

自分の未来は自分で考え自分で創りあげる
実践目標「正しい判断」「自主的行動」

学校の教育方針（スクールポリシー）

○育成を目指す資質・能力に関する方針（グラデュエーション・ポリシー）：人間力（①他者と関わり協働する力 ②自他を尊重し思いやる心 ③粘り強くやり遂げる力）を培い、
地域創生に貢献できる人財の育成

○教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）：個に応じたきめ細やかな学習指導を徹底するとともに大学等との連携を図るなど、多様なニーズに対応した
進路希望を実現するためのキャリア教育の実施

○入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）：自らを社会の中の一員として意識し、
学校生活に積極的に取り組む意欲のある生徒